

# 西はりま天文台の活動報告

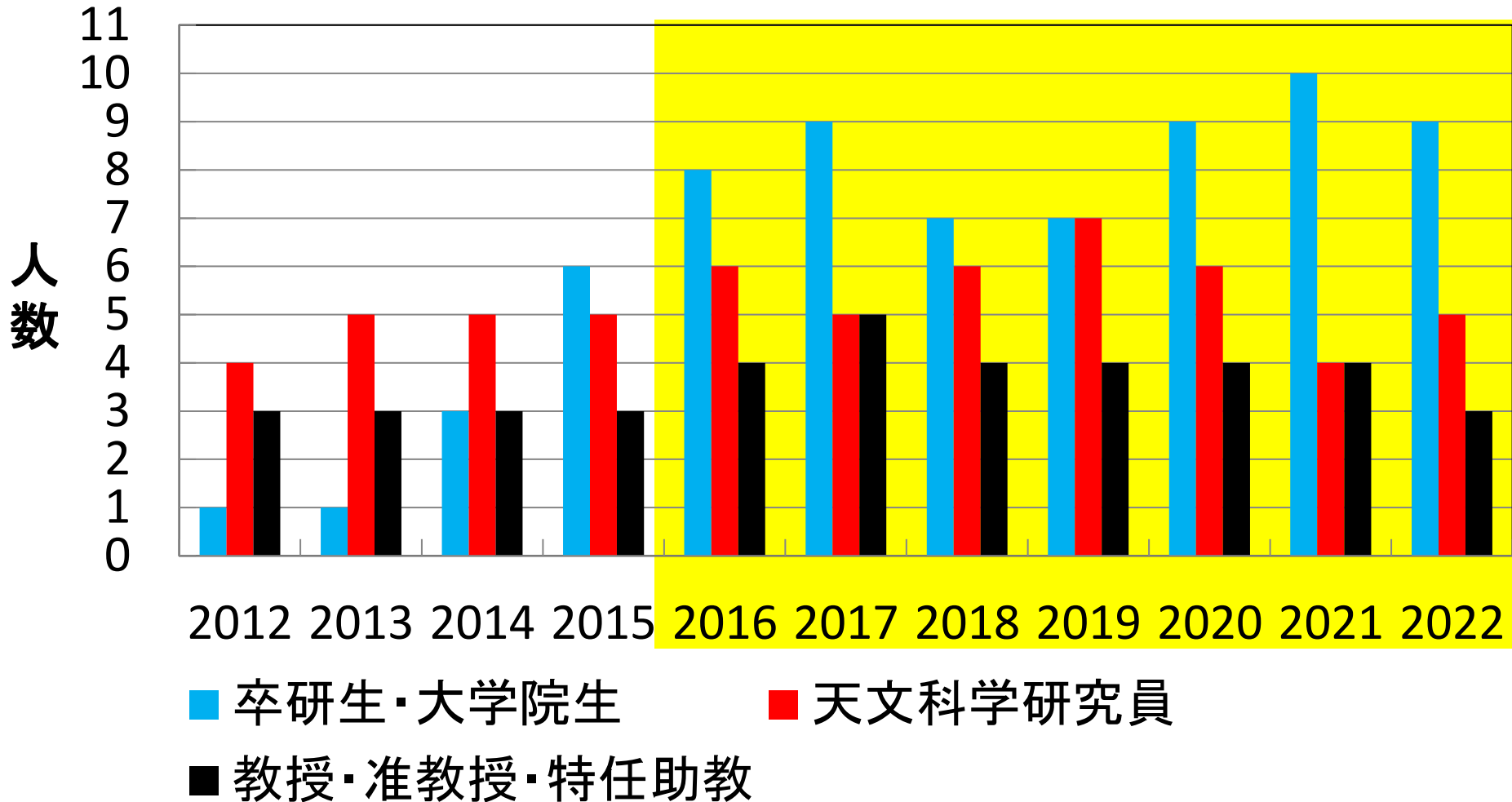


兵庫県立大学 自然・環境科学研究所  
天文科学センター 伊藤洋一

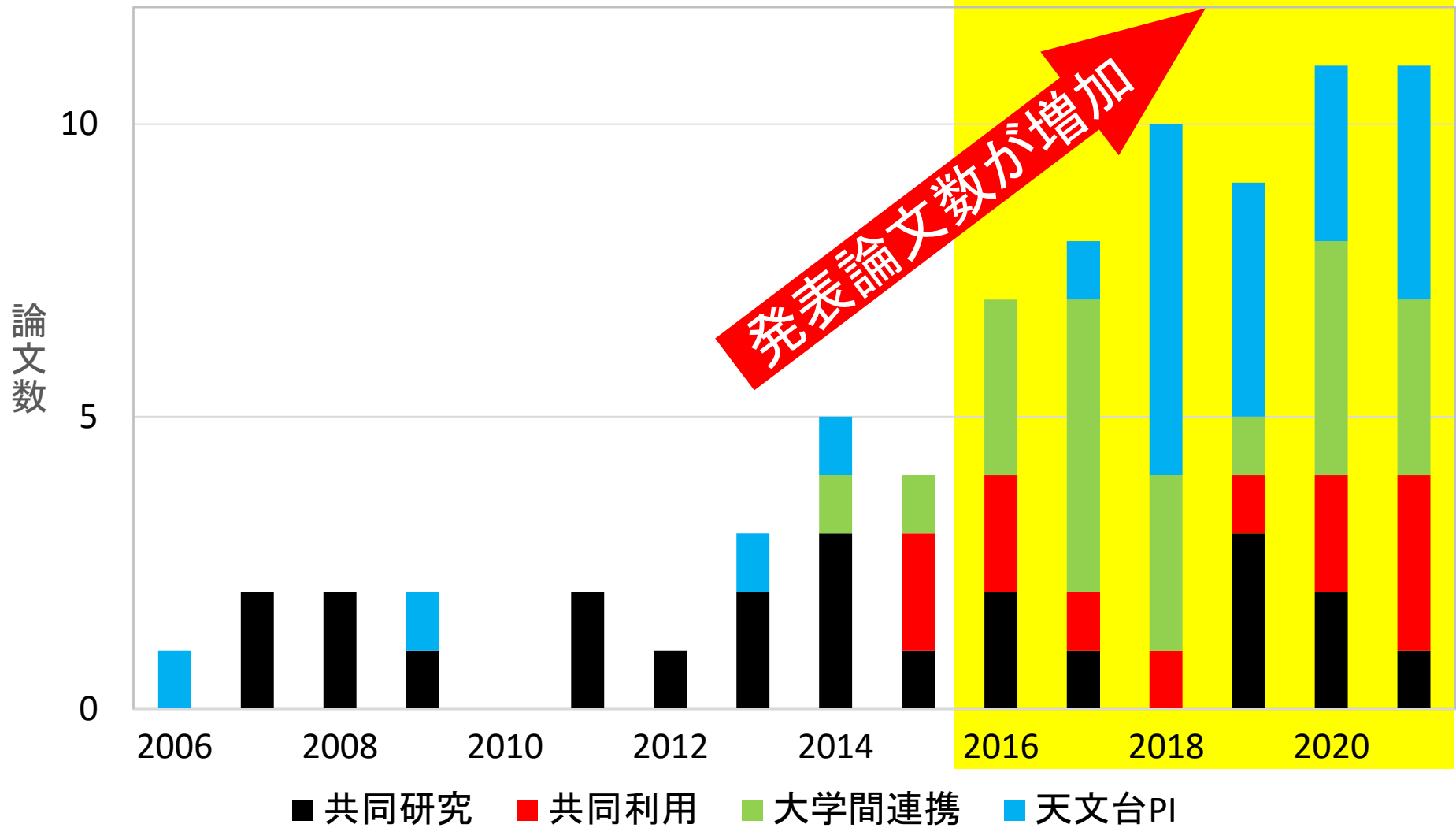


# 人員

- 兵庫県立大学理学部の学生が増えてきたが、頭打ち？
- 各種外部資金が2021年度に終了し、研究員は減少。



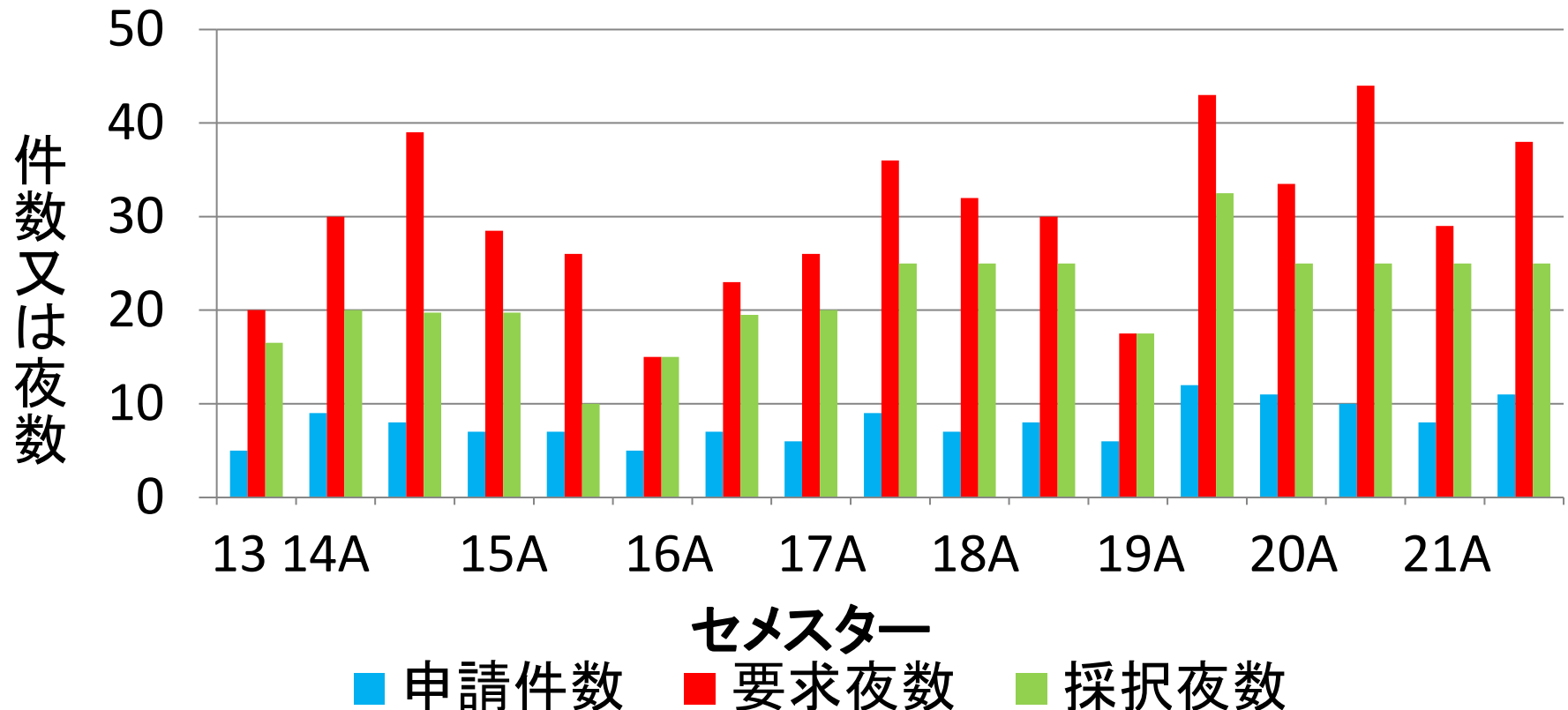
# 発表論文数



「なゆた望遠鏡」を使用した論文に限る

# 共同利用観測

- プロポーザル : 年間2回公募、半年で25夜
- 装置 : MALLS, NIC, WFGS2等
- 審査 : 外部委員を含めた審査委員会



2022B期のプロポーザルは8月15日締め切り

# 共同利用・研究拠点 機能強化支援

## 拠点の目標

- プロポーザル制に基づく共同利用観測により、独創的な研究成果を上げる
- 研究観測や装置開発を通じ、全国の大学における大学生・大学院生の教育に貢献する

## 機能強化

- 既存の観測装置の改良と、先鋭的な新装置の開発により、「なゆた望遠鏡」の競争力を強化
- 小型の観測装置の開発を全国の大学に呼びかけ、その活動を支援
- 3年間で5000万円余りの助成(全国の公私立大学4拠点)

# 概要

超高精度偏光撮像装置の開発

**トップダウン型**

先鋭的な観測装置で、特色ある研究を創出

なゆた望遠鏡の  
機能強化

既存装置の改良

汎用性の高い装置を改良し、  
共同利用観測の多様性を拡大

大学における装置開発

**ボトムアップ型**

利用者が開発者に。装置を開発できる人材を育成

# 大学における装置開発

- 「なゆた望遠鏡」ナスミス焦点に設置
- 装置ローテーターに取り付け  
(一辺40cm, 15kg以下)
- CCDは西はりま天文台が用意
- 開発費として100万円を補助
- 光学設計や機械設計を研究員が助言
- 1年または2年で完成させる
- 一週間程度の試験観測期間を設定
- 完成した装置は西はりま天文台が所有し、共同利用に供する

# 宣伝

1. 共同利用観測 2022B

8月15日締め切り

2. 観測装置の開発

2023年2月頃に募集する予定

3. Stars and Galaxies誌

10月31日締め切り

4. 特任助教、研究員

共同利用拠点特任助教、天文科学研究員